

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水 I	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間と文化(倫理学) Humanity and Culture (Ethics)		
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 吉田雅章 /Eメールアドレス: /研究室:環境科学部 453 室 /TEL:095-819-2736 /オフィスパワー:木曜日 15:00~16:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 倫理学とはどういう学問かを理解し、倫理的思考方法を身につけ、人間や自己をめぐる問題の考察の力を養うことをねらいとする。 授業方法: 講義形式であるが、毎時間学生からの質問をカードで聴取し、次回これに答えることによって、一層理解を深めるという方法をとる。 授業到達目標: 取り上げられるテーマを理解することができ、自らもそうしたテーマについて思考を進め理解を深めることのできる能力を身につけ、人間や自己といった根本的・原理的な問題について考察できる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 倫理学は人間存在の学であるが、この講義では人間存在の意味を考えるために、まず人間存在を形成している習慣および習慣形成の根底に横たわる人柄の問題を取り上げて、その原理的な解明を行う。さらに、自己了解を形成する知と価値をめぐる、ソポクレスの悲劇『オイディプス王』を検討することによってその意味を考察する。 第1回 オリエンテーション(倫理学とはどんな学問か、講義のねらい・内容の概要、報告書の提出等に関する説明) 第2回 習慣論——習慣の否定的評価と積極的評価 第3回 習慣論——習慣の多様性 第4回 習慣論——習慣と知識、習慣と意志 第5回 人柄論——倫理学の誕生 第6回 人柄論——行為と人柄 第7回 人柄論——「いのち」のふたつの層 第8回 人柄論——節度をめぐる人柄の4つの類型 第9回 自己論——自己知とは何か 第10回 自己論——良心 第11回 自己論——自己知と言葉 第12回 自己論——『オイディプス』にみる自己知(1) 第13回 自己論——『オイディプス』にみる自己知(2) 第14回 自己論——『オイディプス』にみる自己知(3) 第15回 総括と指導			
キーワード	倫理 習慣 人柄 自己		
教科書・教材・参考書	市販のテキストは使用しない。講義に際して配布する「講義概要」に基づいて講義を進めるが、第3のテーマである「自己論」については、教材としてソポクレス著／藤沢令夫訳『オイディプス王』(岩波文庫他)を用いるので、あらかじめ熟読しておく必要がある。		
成績評価の方法・基準等	成績の評価は、報告書の提出(20%)と考査(80%)によって行う。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	講義に先立ち講義概要を配布するので、講義に臨む準備として講義概要に十分目を通しておくこと。		